

1 令和8年度 西淀川区教育担当が実施する事業の方向性について

関連事業一覧（協賛事業除く）

		事業名称	令和8年度事業方針（案）	
校長経営戦略支援予算（次長枠）	①	学習意欲の向上事業（に～よん模試含む） （旧）基礎学力の向上事業	継続	実施方針に変更なし
	②	スクールボランティア支援事業	継続	実施方針に変更はなし
	③	民間事業者を活用した学習意欲の向上事業（に～よん個別学習塾）	継続	実施方針に変更なし ※通称名を「に～よん個別復習塾」から「に～よん個別学習塾」に変更。
区まちづくり推進費	①	教育環境充実事業	継続	事業方針に変更なし
そのほか	①	西淀川区不登校児童生徒学習支援事業（デキタス）	廃止	協定期間終了（延長含む）に伴い事業廃止予定。

・市全体や教育委員会事務局の令和8年度予算方針は現時点で未定。基本的にはシーリング0%想定。

1 令和8年度 西淀川区教育担当が実施する事業の方向性について（次長枠）

校長経営戦略支援予算（次長枠）

学習意欲の向上事業【継続】

①に～よん学びの功労表彰

学習意欲・自己肯定感・基礎学力の向上をめざし、小学生は英検Jr・英検ESG、中学生は漢字検定又は文章検定を実施。

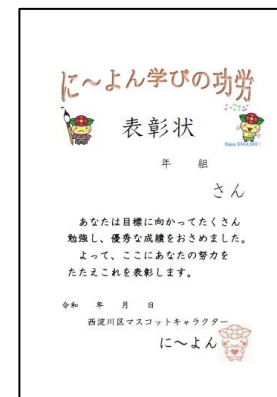
【表彰制度】～自分で目標を決めて、努力して、合格する体験を、たくさんのこどもたちに～

【応援制度】西淀川区住みます芸人からの全校集会等での応援漫談

（参考）自分には、よいところがあると思いますか？ 肯定的回答の割合（全国・学習状況調査より）

小学校 平成30年度 69.7% ⇒ 令和6年度 81.2%

中学校 平成30年度 59.0% ⇒ 令和6年度 81.7%



（令和6年度画像イメージ）

②に～よん模試（中学校費）

区内の中学2年生を対象に、約1年後におかえる高校受験を見据え、自らの課題を見つけ進路への意識づけをすることを目的とし、区内の高等学校にて模試を受験する機会を提供する。

・好文学園女子高等学校と模試実施にかかるノウハウを持つ民間企業と連携協定を結び実施。

（参考）令和6年度アンケート結果

『に～よん模試』を受験して、「いよいよ4月から中学3年生だ！勉強を頑張ろう！」という気持ちになりましたか。 肯定的回答 74.5%

問題を解く時間配分はうまくできましたか。 肯定的回答 54.6%

校長経営戦略支援予算（次長枠）

スクールボランティア支援事業【継続】

学校を人的に支援するため、学校などでボランティア活動を行う方に報償金と交通費を支給する。
各学校からの増要請に対し、令和8年度の配置枠を増加予定。

- ・ 広報：区広報紙きらり☆にしよど、区HP、SNSを活用して人材の確保を目指す
（参考） R6スクールボランティア支援事業が有効と感じる学校の割合：82％
- ・ 学校からのニーズも高く、ボランティア希望者も増傾向にあり、R7実施進捗を考慮し、小中の予算按分を変更。
- ・ 経費のみでなく、人材の確保についても広報紙等を活用した支援を行う。

民間事業者を活用した基礎学力支援事業（に～よん個別学習塾）【継続】

小学5・6年生及び中学生を対象に、大阪市習い事・塾代助成事業の範囲内での費用負担でホール・エルモを活用した個別学習塾事業を行い、教育環境の充実、学習習慣の定着、学習意欲の向上をめざす。オンライン実施も可能。

- ・ 令和5～7年度の3か年の協定内容に基づき実施中。

（参考）令和6年度実施アンケート 肯定的回答の割合
「以前分からなかった学習内容が分かるようになりましたか？」89％
令和7年度7月時点受講生 ホール：小学生4人、中学生18人、合計22人（R6 18人） エルモ：小学生8人、中学生31人、合計39人（R6 33人）
※大阪市習い事・塾代助成事業の所得制限撤廃に伴い、ニーズの拡大が予想される。

令和6年10月利用分から

郵送による申請期限 8/15※ 必着！

利用希望の皆さまへ

大阪市内在住のすべての小5～中3が対象に！

所得制限撤廃

1 令和8年度 西淀川区教育担当が実施する事業の方向性について（区まち）

区まちづくり推進費

教育環境の充実事業【継続】

- ・ 学校長や学校協議会と情報・課題の共有等を図り、よりよい教育環境づくりを行う。
教育行政連絡会の開催。 ※学校協議会会長会については書面開催を予定。
- ・ 未就学の外国につながる子どもに対し、小学校・高校へ繋げるサポートを行う。

【にしよど☆グッドスタート事業】

区CM事業である「利用者支援事業」も活用し、保育園・幼稚園に通う外国につながる児童を早期に小学校につなぐための調査票を外国につながる保護者に記入してもらうように保育園・幼稚園に依頼し、進学先小学校と情報を共有する。（R6…11人、R7…17人(速報値)）

【たぶんか高校進学セミナー】

年度途中で来日した中学校卒業後のこども、中学校を卒業したが高校に進学しなかった外国につながるこどものうち、地域の学習支援団体等の協力を得ながら、高校に進学する意欲のあるこどもを対象に「たぶんか高校進学セミナー」等を実施し、必要に応じて進学のための支援を行う。

（参考）R6…99人、R7…60人

配布資料の翻訳 R5…英語、中国語、R6…スペイン語、ネパール語、R7…ベトナム語、左記のこれまでの言語資料の修正

そのほか

西淀川区不登校児童生徒学習支援事業～おうちで勉強、おためしプラン～

【令和7年度末で終結予定】

小中学校における不登校児童・生徒に向けた学習対策として、企業と連携協定を結び、令和6年度末まで無償でオンライン学習教材を利用可能としている事業です。実証期間が令和6年度末までのところ、今年度のみ暫定的に延長対応のため終結予定です。

こどもサポートネットで支援している児童生徒を対象に、オンライン学習教材「デキタス」を無償で供与する。小学校1年生から中学校3年生までの教材が用意されており、こども自身が好きな学年・好きな教科を選んで学習することができます。

原則保護者が用意した端末を使用いただきますが、WEB上で動作する教材ですので、学校配付のタブレットも使用可能であり、学校運営支援センターからは、「一部動画などが動かないこともあるかもしれないが、試しながらやってみてほしい」と聞いています。

学校から「学習以外に学校のタブレットを使ってははいけません」と指導されていることと存じますが、区役所が行う不登校児童生徒への学習支援事業であることをご理解いただき、こどもたちが学校タブレットで本教材を利用する可能性があることをご承知おきください。

（参考）令和5年7月25日事業開始

3. 学校協議会で取り上げられた意見について（小・中・幼）

- ・ 学校協議会で取り上げられたおもな意見を記載しています。
（会議の対象：令和7年度第1回学校協議会）

《小学校》

- ・ 子どもの自己肯定感、自己重要感の向上について
- ・ 公園での遊び方（Jボードの乗り方など）について
- ・ 様々な事情で学校に来られない子へのケアについて
- ・ 学校の安全・安心ルールの明確化、児童の安全について学校や家庭・地域との共有について
- ・ 将来を見据えたキャリア教育の実践について
- ・ いじめの定義について（個人の尊厳が第一であること）
- ・ 中学校との連携（小中接続、授業形態の工夫、中学校体育教師の小学校での指導、放課後学習等）について
- ・ オフラインデー（SNSにふれない日）の設定とその取り組みについて
（その日はゲームのことを怒らずに済む）（子どもたちは意外とルールや約束事を守ることができる）
- ・ SNSの使い方について（子どもだけでなく保護者にも啓発を行う必要がある）
- ・ 読書に親しませる場の設定について（学級の後ろのロッカーの上に本を置き、自由に読むことができる環境を作る）
- ・ 外国籍の子どもたちについて（日本語での会話は可能だが、学力的にはしんどい子が多い）
- ・ PTAが解散したことによる変化について（登校などの安全の見守りが心配。保護者への参加への呼びかけや啓発が必要）

《中学校》

- ・中学生たちへの指導について（集団への指導、個別には子どもに合わせた接し方を考える等）、その年頃の子どもたちを引っ張って行ってあげてほしい。
- ・学習者利用端末などICTの活用状況がよく分かり、よかった。
- ・学校のきまり（規則）を守る意識が高く、落ち着いて授業ができている
- ・それぞれの立場で中学校の取り組みを見守り、良い振り返りができるよう努めたい。
- ・生徒が主体的に判断、行動できるように取り組みをがんばってほしい。
- ・端末の活用、見て分かりやすい授業の実施や自分の考えを発信する力の向上を目指しているが、市教委からは費用対効果の面から利用率を厳しく見られている。
- ・朝の読書時間の導入により、生徒たちが落ち着いて授業に臨めている。

《幼稚園》

- ・プールの着替え等、幼稚園でも様々なことを考えていく必要があることが分かった。
- ・園児減少についてはどの園も悩んでいるのではないかと。小学校や地域との交流の強みを活かしていくとよい。
- ・防犯・安全などに対する意識や自分自身で身を守ろうとする力がついてきている。
- ・安全や防犯については、今般の状況から見ても取り組んでいくことの必要性を感じる。また家庭との連携、近隣校や地域との連携については、今後も密に行っていくことが地域の子どもたちとしての成長を見守ることにつながる。
- ・地域と一緒に子どもたちを育てていくことは大切。小学校との交流を行うことで両方の子どもたちの心の成長につながる。